

3. 市街地整備の実績

◆西部拠点の整備

- 岐阜大学農場跡地を「学びの森」として第1期公園整備（4.0ha）
- 各務原養護学校の建替え整備（平成17年度）、中部学院大学の立地・開校（平成18年度）
- 市民公園駐車場の整備（8,657㎡、340台）
- 市民公園北駐車場の整備（5,960㎡、167台）
- 学びの森駐車場の整備（6,784㎡・153台）
- 学びの森緑地の整備（1.8ha）
- 那加福祉センターのリニューアル（平成15年度）
- 樗通りの整備（平成16年度～20年度）
- 雲雀町通りの整備（平成16年度～20年度）
- 市民公園通りの整備（平成16年度～20年度）
- 各務原市役所前駅周辺整備（平成18年度）
- 各務原市役所前駅南整備（平成19年度）
- 各務原市役所前駅北整備（平成20年度）
- 平成20年8月に「都心ルネサンス地区」を重点風景地区として指定



▲学びの森 平成18年撮影



▲各務原養護学校 平成21年撮影



▲中部学院大学 平成21年撮影



▲市民公園駐車場 平成20年撮影



▲雲雀町通り 平成21年撮影



▲市民公園通り 平成21年撮影



▲各務原市役所前駅周辺① 平成20年撮影



▲各務原市役所前駅周辺② 平成20年撮影



▲各務原市役所前駅北 平成21年撮影



▲那加福祉センター 施工前 平成 16 年撮影



▲那加福祉センター 施工後 平成 17 年撮影



▲各務原市役所前駅 改修前(正面) 平成 19 年撮影



▲各務原市役所前駅 改修後(正面) 平成 20 年撮影



▲各務原市役所前駅 改修前(背後) 平成 19 年撮影



▲各務原市役所前駅 改修後(背後) 平成 20 年撮影



▲産文北通り 施工前 平成 14 年撮影



▲産文北通り 施工後 平成 21 年撮影
※民有地を買収して、歩道付き道路を整備



▲学びの森プロムナード(冬ソナ通り) 施工前 平成 14 年撮影

▲学びの森プロムナード(冬ソナ通り) 施工後 平成 21 年撮影

※岐阜大学農場跡地は、当時柵があり一般市民には開放されていなかったが、公園整備により一般市民に開放された。



▲学びの森イルミネーション(H17 年度～) 平成 17 年撮影



▲学びの森イルミネーション(那加福祉センター前)
平成 17 年撮影

◆新都市拠点・産業拠点の整備

○新たな産業立地の受け皿としてのテクノプラザⅡ期地区の造成工事完了(平成 17 年 10 月)

○テクノプラザⅠ期事業、Ⅱ期事業が完了し、VRテクノセンター、アネックス・テクノ2、研究開発型企業、高度技術工場等が立地

○テクノプラザⅢ期地区については、平成 22 年 3 月に造成工事が完了し、先端技術製造業等を誘致

○インターチェンジ周辺地区では大型商業施設が平成 19 年 7 月に開業



▲テクノプラザ地区



▲インターチェンジ周辺地区 平成 21 年撮影

◆東部拠点の整備

○鵜沼駅前広場の整備（ $A=5,140\text{ m}^2$ 平成15年度）及び駐輪場の整備完了（平成15年度）

○まちづくり交付金活用事業による新鵜沼駅周辺地区整備（平成18年度～24年度）

- ・新鵜沼駅前広場（ $A=5,100\text{ m}^2$ ）（平成18年度～20年度）
- ・自由通路（ $L=263\text{ m}$ 、 $W=4\text{ m}$ ）（平成18年度～20年度）
- ・鵜沼東部区画整理（ $A=2.23\text{ ha}$ ）（平成19年度～24年度）



▲鵜沼駅旧連絡歩道① 平成17年撮影



▲鵜沼駅旧連絡歩道② 平成17年撮影



▲鵜沼駅旧連絡歩道③ 平成17年撮影



▲鵜沼空中歩道 平成21年撮影



▲鵜沼空中歩道エレベーター 平成21年撮影



▲鵜沼空中歩道北口 平成21年撮影



▲鵜沼駅舎(H21.3 橋上駅化) 平成21年撮影



▲鵜沼駅前広場 平成21年撮影



▲新鵜沼駅前広場 平成21年撮影



▲中部国際空港行き特急列車 平成20年撮影

※平成17年に新鵜沼駅、三柿野駅を発着駅として、中部国際空港（セントレア）まで約1時間で連絡する直通列車の運行により更に利便性が高まる。



▲鵜沼駅及び新鵜沼駅周辺 平成 21 年撮影

◆交流拠点の整備

国営木曽三川公園の河川環境楽園及びかさだ広場を含む川島地区の都市計画緑地については昭和61年12月に都市計画決定がなされ、かさだ広場は昭和63年に国営公園として開園した。河川環境楽園の区域については、複雑な管理形態に応じ数度の都市計画変更を経て、平成11年に国営公園（一部県営公園）として供用開始（1期開園）された。平成16年7月には県営公園区域に世界淡水魚園水族館（アクア・トトぎふ）が開館している。川島地区以外の都市計画緑地については昭和54年3月に都市計画決定、昭和62年2月に変更がなされ、各務原アウトドアフィールドの一部が平成17年3月に国営公園として開園している。平成21年1月には都市計画区域の再編に伴い、川島地区を含めた国営木曽三川公園各務原緑地として都市計画緑地が変更された。

○河川環境楽園（54.5ha）（平成16年度完了）

- ・木曽川水園、河の森、川原広場、世界淡水魚園水族館（アクア・トトぎふ）、観覧車（オアシスホイール）、河川環境研究所、水辺共生体験館、自然共生研究センター、実験施設

○国営木曽三川公園各務原緑地（各務原アウトドアフィールド）（平成17年3月19日 一部供用開始）

- ・自然散策園路、遊歩道、サイクリングロード等



▲河川環境楽園 平成 21 年撮影